

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和3年10月14日(2021.10.14)

【公開番号】特開2020-145498(P2020-145498A)
 【公開日】令和2年9月10日(2020.9.10)
 【年通号数】公開・登録公報2020-037
 【出願番号】特願2019-38378(P2019-38378)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 9/08 (2006.01)
 G 0 6 F 21/44 (2013.01)
 G 0 6 F 21/60 (2013.01)
 H 0 4 L 12/803 (2013.01)

【F I】

H 0 4 L 9/00 6 0 1 C
 H 0 4 L 9/00 6 0 1 E
 G 0 6 F 21/44 3 5 0
 G 0 6 F 21/60 3 6 0
 H 0 4 L 12/803

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月25日(2021.8.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

証明書更新部64は、有効期限が経過した証明書に対して新たな有効期限を設定することにより、証明書の更新を行う。証明書更新部64は、例えば、通信制御装置30(31)からの更新申請に基づいて、当該通信制御装置30(31)に対して発行した証明書の有効期限を延長させた証明書を発行し、発行した証明書を通信制御装置30(31)に対して送信する。発行した証明書を示す情報が通信制御装置30(31)により受信され、通信制御装置30(31)のICカード40の証明書情報記憶部55に記憶されることで、通信制御装置30(31)の証明書の有効期限が延長される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0083

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0083】

また、通信システム1では、ICカード40の制御部51において、相互認証と暗号化復号処理とのうち少なくともいずれか一方を行わせる。このため、通信制御装置30(31)の装置コストを抑制することができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0118

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0118】

また、第1通信デバイス111Aからの不具合を示す情報を受信すると、通信制御管理装置5の制御部61は、不具合を示す情報の発信元である通信制御装置101の第1通信デバイス111Aに対して未通信状態となることを指示する(ステップS109)。この通信制御管理装置5からの未通信状態への切替指示は、不具合を示す情報の発信元である第1通信デバイス111Aにより取得される(ステップS110)。これにより、第1通信デバイス111Aのコントローラ120は、通信制御管理装置5からの未通信状態への切替指示に応じて動作モードを未通信状態に切り替える(ステップS111)。

【**手続補正4**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0184

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【**0184**】

自己診断の実施要求に対する結果を取得すると、通信制御管理装置5の制御部61は、自己診断の結果を記憶部66に保存する(ステップS316)。例えば、通信制御装置30で自己診断が実施された場合、制御部61は、自己診断の実行結果を示す情報を実施日時と共に当該通信制御装置301の識別情報に対応づけて記憶部66に記憶する。また、通信制御装置30で自己診断が実施されなかった場合、制御部61は、自己診断が実施できなかった旨の情報を当該通信制御装置301の識別情報に対応づけて記憶部66に記憶する。

【**手続補正5**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0205

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【**0205**】

例えば、コントローラ320は、当該通信制御装置における通信量の分析情報に基づき、通信量が最も少ない時間帯で当該通信制御装置301がログ情報を送信できる時刻を送出時刻の候補として選出する。また、コントローラ320は、当該通信制御装置における通信量の分析情報に基づき、通信量が所定閾値未満となる時間帯から当該通信制御装置301がログ情報を送信できる時刻(送出時刻)を選出しても良い。

【**手続補正6**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0206

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【**0206**】

ログ情報の送付時刻の候補を選出すると、コントローラ320は、選出したログ情報の送付時刻の候補を通信制御管理装置5へ送信する(ステップS424)。これにより、通信制御装置301が選出するログ情報の送付時刻の候補は、通信制御管理装置5が取得する。

【**手続補正7**】

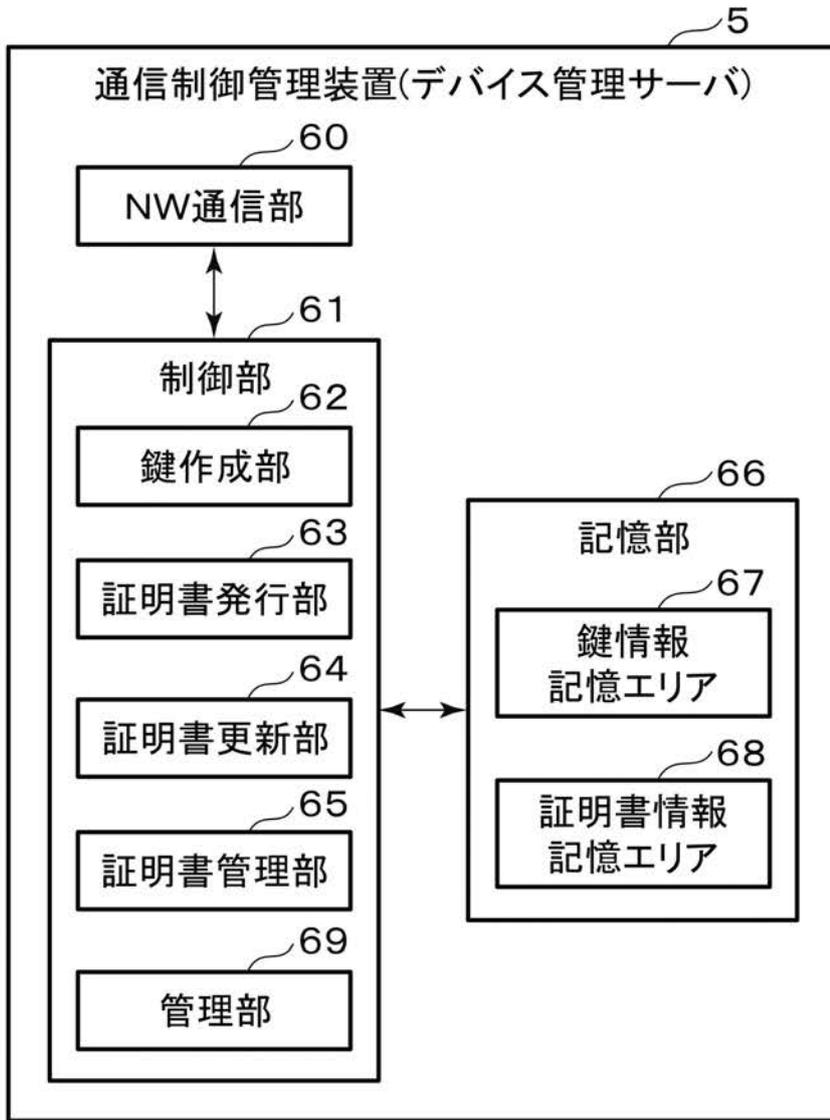
【**補正対象書類名**】図面

【**補正対象項目名**】図6

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【図6】



【手続補正 8】

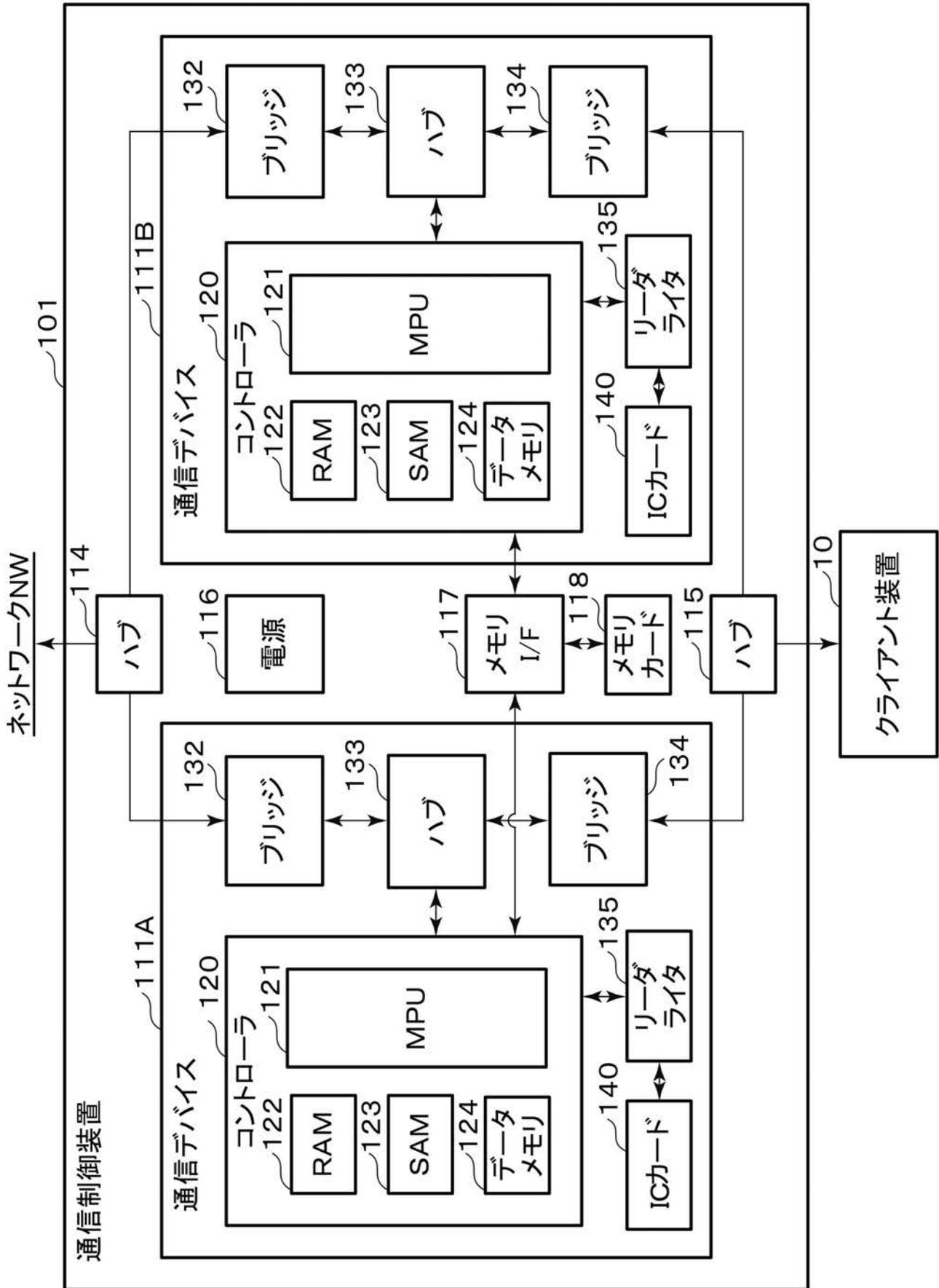
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図9】



【手続補正 9】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 13】

